

## 令和7年度公立特別支援学校高等部における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和8年2月1日現在としてお答えください。

※本調査は、公立特別支援学校高等部（本科）のうち、外国語科について高等学校の目標及び内容に準ずる教育課程を編成している学校のみ対象とします（下学部・下学年の目標及び内容を中心とした教育課程を編成している学級や、知的障害の特別支援学校の各教科の内容を中心とした教育課程を編成している学級は対象としません）。

※分校がある場合は、本校と分校をまとめて1校とします。

※本調査は特別支援学校高等部本科の状況を対象とします。専攻科の状況は対象に含みません。

※複数の障害種部門を設置している場合は、各部門をまとめて1校とします。

※専門教育を主とする学科について、学科が複数ある場合は、その学校にある専門教育を主とする学科全体としてお答えください。

※本調査は任意調査です。

### 1. 回答学校数

（単位：校）

回答学校数
187

### 2. 回答学校における学科の設置状況

2-(1) 特別支援学校設置基準第3条及び第4条の区分による「普通科」について、貴校での設置状況を「設置されている」「設置されていない」から選択して回答してください。

※「普通科」とは特別支援学校設置基準第4条第1項の学科です。

（単位：校）

設置されている	設置されていない
174	13

2-(2) 特別支援学校設置基準第3条及び第4条の区分による「その他専門教育を施す学科」のうち、貴校における英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科の設置状況を「設置されている」「設置されていない」から選択して回答してください。

（単位：校）

設置されている	設置されていない
0	187

2-(3)上記の「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」が設置されている学校において、開設している科目を選択して回答してください。（複数選択可）

※高等学校の目標及び内容に準ずる教育課程を編成している学科のみを対象とします。

※教育課程上開設予定としている場合でも、実際に開設していない場合は選択しないでください。

（単位：校）

総合英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	ディベート・ディスカッションⅠ	エッセイライティングⅠ	論理・表現Ⅰ	総合英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	ディベート・ディスカッションⅡ	エッセイライティングⅡ	論理・表現Ⅱ	総合英語Ⅲ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2-(4) 特別支援学校設置基準第3条の区分による「専門教育を主とする学科」について、貴校での設置状況（設問2-(2)に該当する学科を除く。）を「設置されている」「設置されていない」から選択して回答してください。

（単位：校）

設置されている	設置されていない
39	148

### 3. 英語担当教師の英語力に関すること

3-(1) 調査基準日時点において特別支援学校高等部の英語担当教師数、及び当該英語担当教師のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2～C2レベル相当を取得している教師数を回答してください。

※「英語担当教師」とは、調査基準日時点において特別支援学校に所属し、外国語（英語）の免許状（免許状の種類は問わない）を所有し、かつ高等部において、高等学校の目標及び内容に準ずる英語の授業を担当している者です（ただし、臨時的任用の者及び非常勤講師を除く）。なお、管理職や再任用教員であっても、上記に当てはまる場合は対象になります。

※「英語能力に関する外部試験」の結果がCEFR B2～C2レベル相当に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※（ウ）は（イ）に含まれません。（エ）は（イ）及び（ウ）に含まれません。ご注意ください。

（単位：人）

	英語担当教師数 （ア）	（ア）のうち、 CEFR B2レベル相当 を取得している 教師数（イ）	（ア）のうち、 CEFR C1レベル相当 を取得している 教師数（ウ）	（ア）のうち、 CEFR C2レベル相当 を取得している 教師数（エ）	（イ）+（ウ）+ （エ） CEFR B2レベル相当 以上を取得している 教師数
人数	345	151	26	15	192

### 4. デジタル学習基盤の活用状況（令和7年度）

4-(1) 英語の授業における以下に示すICT機器の活用状況（AIを活用したものを除く）について、当てはまるものを選択して回答してください。

※高等学校の目標及び内容に準じて実施している英語の授業における活用状況について回答してください。

（単位：校）

	週3回以上	週1回程度	半月に1回程度	月1回程度	月1回未満	全く行わせていない
発話や発音などの録音・録画 ※ AIを活用した練習等のための録音・ 録画を除きます。	24	22	4	15	26	96
人との文字でのやり取り（電子メールやSNS、チャット等） ※英語で 入力している場合を指します。	6	12	5	12	26	126
オンライン会話（遠隔地の生徒や教師、ALT等と英語で話す交流等）	3	3	1	5	20	155

5. 生徒の英語力に関すること

5-(1) 以下に該当する生徒数を記入してください。なお、特別支援学校高等部（本科）第3学年のうち、外国語科について高等学校の目標及び内容に準ずる教育課程で学んでいる生徒のみを対象（ただし、下学部・下学年の目標及び内容で学んでいる生徒は対象外。）とします。

※「英語能力に関する外部試験」の結果がCEFR A2～C2レベル相当に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※「CEFR A2(B1)レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指します。

【判断方法の例】

- ・2技能又は3技能を測る試験におけるスコア
  - ・公式な記録としては認定されない試験のスコア（例：英検IBAなど）
  - ・CAN-DOリストに基づく自校でのパフォーマンステストの結果
  - ・MEXCBT（文部科学省CBTシステム）に搭載しているCBT問題の解答状況  
（参考：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1387503\\_00010.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503_00010.htm)）
  - ・AIツール等による英語力の判定結果
- 等

※以下の（ウ）（ケ）の回答にあたっては、生徒の障害の状態等に応じて、代替的な手段により英語力を測った場合も含めて、総合的に判断してください。

※（ウ）～（ケ）はいずれも重複しませんので、ご注意ください。

（単位：人）

	普通科	英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	専門教育を主とする学科	全学科
第3学年に所属している生徒数（ア）	399	0	190	589
（ア）のうち、英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒数（イ）	83	0	15	98
（イ）のうち、CEFR A2レベル相当を取得している生徒数（ウ）	13	0	3	16
（イ）のうち、CEFR B1レベル相当を取得している生徒数（エ）	8	0	0	8
（イ）のうち、CEFR B2レベル相当を取得している生徒数（オ）	0	0	0	0
（イ）のうち、CEFR C1レベル相当を取得している生徒数（カ）	1	0	0	1
（イ）のうち、CEFR C2レベル相当を取得している生徒数（キ）	0	0	0	0
（ア）のうち、CEFR A2レベル相当の英語力を有すると思われる生徒数〔（ウ）以外〕（ク）	18	0	8	26
（ア）のうち、CEFR B1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数〔（エ）～（キ）以外〕（ケ）	2	0	0	2
【（ウ）～（キ）の合計】 CEFR A2レベル相当以上を取得している生徒数	22	0	3	25
【（ク）+（ケ）】 CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数	20	0	8	28
【（ウ）～（ケ）の合計】 CEFR A2レベル相当以上を取得している、あるいはA2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数	42	0	11	53

※（ウ）～（ケ）の関係については、以下図表を参照。

	CEFR A2レベル相当	CEFR B1レベル相当	CEFR B2レベル相当	CEFR C1レベル相当	CEFR C2レベル相当
相当する外部検定試験の級・スコア等を取得	CEFR A2レベル相当を取得している生徒数（ウ）	CEFR B1レベル相当を取得している生徒数（エ）	CEFR B2レベル相当を取得している生徒数（オ）	CEFR C1レベル相当を取得している生徒数（カ）	CEFR C2レベル相当を取得している生徒数（キ）
相当する英語力を有していると英語担当教師が判断	CEFR A2レベル相当の英語力を有すると思われる生徒数（ク）	CEFR B1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数（ケ）			

5-(2) 上記 (ク) / (ケ) について、A2/B1レベル相当以上を有するかどうかを判断する際に活用した根拠として、当てはまるものを選択して回答してください。

(複数選択可)

※上記 (ク) / (ケ) について、0人と判断した場合であっても、その根拠として当てはまるものがあれば選択してください。

(単位：校)

	普通科	英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	専門教育を主とする学科	全学科
2技能又は3技能を測る試験におけるスコア	22	0	5	27
公式な記録としては認定されない試験のスコア (例：英検IBAなど)	6	0	0	6
CAN-DOリストに基づく自校でのパフォーマンステストの結果	17	0	4	21
MEXCBTに搭載しているCBT問題の解答状況	1	0	0	1
AIツール等による英語力の判定結果	0	0	0	0
その他	32	0	7	39

6. 授業における英語担当教師の英語使用状況

6-(1) 以下の各科目について、授業における英語担当教師の英語による発話の状況として、当てはまるものを選択して回答してください。

※教師ごとの使用状況ではなく、科目全体として回答してください。

※ここでの「英語担当教師」とは、調査基準日において、高等学校の目標及び内容に準ずる英語の授業を担当している者として（臨時的任用の者及び非常勤講師も含まれます）。

※高等学校の目標及び内容に準じて実施している英語の授業を対象とします。

※ここでの「発話」には、音声によるもののほか、教師が、生徒や自身の障害の状態等に応じて多様な方法を用いながら英語を表出し、授業を行っている場合も含まれます。

(単位：校)

		発話の75%以上 を英語で行っている	発話の50%以上 75%未満を英語 で行っている	発話の25%以上 50%未満を英語 で行っている	発話の25%未満 を英語で行っている	開設していない
普通科	英語コミュニケーションⅠ	4	12	43	65	50
	論理・表現Ⅰ	3	8	32	47	84
	英語コミュニケーションⅡ	4	12	42	55	61
	論理・表現Ⅱ	2	3	13	20	136
	英語コミュニケーションⅢ	1	4	9	20	140
	論理・表現Ⅲ	1	0	9	8	156
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	総合英語Ⅰ	0	0	0	0	0
	英語コミュニケーションⅠ	0	0	0	0	0
	ディベート・ディスカッションⅠ	0	0	0	0	0
	エッセイライティングⅠ	0	0	0	0	0
	総合英語Ⅱ	0	0	0	0	0
	ディベート・ディスカッションⅡ	0	0	0	0	0
	エッセイライティングⅡ	0	0	0	0	0
	総合英語Ⅲ	0	0	0	0	0
専門教育を主とする学科	英語コミュニケーションⅠ	1	3	3	19	13
	論理・表現Ⅰ	1	1	0	8	29
	英語コミュニケーションⅡ	1	1	0	11	26
	論理・表現Ⅱ	0	0	0	0	39
	英語コミュニケーションⅢ	0	0	0	1	38
	論理・表現Ⅲ	0	0	0	0	39

7. ALT等の授業への参画状況（令和7年度）

7-(1) 英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況

英語の総授業時数（計画値）の中で、ALT等が参画する授業時数の割合(%)として当てはまるものを選択して回答してください。

※各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられますが、本調査における「外国語指導助手（ALT）等」とは、英語の授業などで計画的・継続的に参画している者を指します。英語以外の外国語を担当する者は含めません。

※高等学校の目標及び内容に準じて実施している英語の授業を対象とします。

※英語の授業以外（総合的な探究の時間や特別活動等）で英語に触れる時数は含めません。

※英語以外の外国語の授業時数は含めません。ただし、英語に関する選択科目や学校設定科目を含みます。

※1単位時間は50分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算してください。

※割合の算出に当たり、計算した結果によって生じた小数点以下は、全て切り捨ててください。

（単位：校）

	75%以上	50%以上75%未満	25%以上50%未満	1%以上25%未満	0%
普通科	3	14	22	89	46
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	0	0	0	0	0
専門教育を主とする学科	0	1	7	15	16

7-(2) ALT等の授業への参画の具体的状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものを選択して回答してください。

※高等学校の目標及び内容に準じて実施している英語の授業を対象とします。

※設問7-(1)で「0%」と回答した学科は回答対象外とします。

(単位：校)

		75%以上の授業で行った(行う)	50%以上75%未満の授業で行った(行う)	25%以上50%未満の授業で行った(行う)	1%以上25%未満の授業で行った(行う)	実施していない
普通科	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	24	23	23	52	6
	パフォーマンステスト等の補助	12	10	19	24	63
	生徒のやり取りの相手	50	20	19	34	5
	発音のモデル・発音指導	42	18	15	40	13
	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	34	16	18	39	21
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	0	0	0	0	0
	パフォーマンステスト等の補助	0	0	0	0	0
	生徒のやり取りの相手	0	0	0	0	0
	発音のモデル・発音指導	0	0	0	0	0
	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	0	0	0	0	0
専門教育を主とする学科	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	2	4	7	9	1
	パフォーマンステスト等の補助	3	1	2	10	7
	生徒のやり取りの相手	7	3	5	8	0
	発音のモデル・発音指導	4	1	5	9	4
	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	3	3	8	8	1

7-(3) ALT等の授業外での活動状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものを選択して回答してください。

(単位：校)

		実施した（する）	実施していない
普通科	英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流	56	118
	授業外での教育活動（例：部活動、個別の英会話練習、異文化理解のための学習、ディベート大会、スピーチ大会等に向けた指導）	20	154
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流	0	0
	授業外での教育活動（例：部活動、個別の英会話練習、異文化理解のための学習、ディベート大会、スピーチ大会等に向けた指導）	0	0
専門教育を主とする学科	英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流	8	31
	授業外での教育活動（例：部活動、個別の英会話練習、異文化理解のための学習、ディベート大会、スピーチ大会等に向けた指導）	8	31